



2021年2月1日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース 33号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

### 1. ガーナココアボード、LBC へのカカオ豆代金の支払遅延、生産者へも支払遅延の影響(1/29)

業界の事情に明るい情報筋の話によると、カカオの統括組織であるココアボードが国内の集荷業者（=LBC）へのカカオ豆の支払いが現在、数週間は既に遅れているとのこと。

- 現在、ココアボードは、10月に始まった20/21シーズンのカカオ豆の集荷分で国内集荷業者であるLBCへの債務が約10億セディ（1億7100万米ドル=180億円）を支払う義務がある。
- ガーナココアボードは、そもそも2020年8月時点でLBC向けの債務の12億セディ（2億700万ドル）の大部分を返済していたが、現在、新物の出荷が停滞気味の為、資金回収が遅く、再度支払い遅延が発生している。
- 現地のカカオ生産者へのインタビューによると、現在は、カカオ豆をLBCに販売してから豆の支払いまで約3週間以上かかると説明した。

### 2. コートジボワールのトップココア輸出業者が売買契約を再開 (1/29)

コートジボワールの主要なカカオ豆輸出業者は、10月以降、新規の買い付けが停滞していたが、今週ついに規制当局（CCC）からの購入を再開し、価格紛争の終結を示したと産地情報に詳しい関係者は漏らした。

- 規制当局のCCCは、今週、先物売買契約で72,000トンのカカオを新規に販売した。
- コートジボワール国全体の販売数量は10月1日から6ヶ月間で前年同期の154万6千トンに対し、156万7千トンとなった。
- CCCは例年通りメインクロップの販売を終えて、ミッドクロップへの持越し在庫はなくて済む可能性が高い。

### 3. 2020-21年の世界のカカオ需給は、190,000トンの余剰在庫。マレックス社予測。(1/29)

世界のカカオの需給バランスにおいて、2020-21シーズンは、前年の8,000トンの余剰から今シーズンは190,000トンに上昇すると、調査会社のマレックス・スペクトロンは発表した。

- 世界のカカオ豆生産量は前年比5.4%増の約490万トンで、アフリカ地域から最大の増加が見られる。
- 世界のカカオ豆の粉砕加工能力も470トンに増加する見込み
- Covidからの経済回復が始まれば、前年対比で1.5%増加程度の磨砕数量になる可能性がある。

➤ 2021年第1四半期の磨砕数量は、おそらく2020年第4四半期と同様程度に前年対比で落ち込むだろう。

#### 4. コートジの AFG グループが、68,000 規模のカカオ磨砕工場の建設(1/29)

コートジボアール・アビジャンに拠点を置く、アトランティック・ファイナンシャル・グループが、今年同国最大の港であるサンペドロ市にカカオ磨砕工場を新設すると発表した。

- 同グループは、磨砕工場建設プロジェクトの為に新会社 Atlantic Cocoa Corp Côte d' Ivoire 社を登記。
- 工場の規模は 68,000 トンで、カカオマス、ココバター、カカオケーキの製造を行う予定。
- 総工費は明らかにされていないが、30%を自社資本、70%を外部からの借りで実施する。
- 同グループは、カカオ磨砕工場へは初めての投資ではなく、既にカメルーンでも工場事業に携わっている。

#### 5. WCF の Ricard Scobey 氏が 5 月で退任、TRAFFIC の代表へ転じる。(1/27)

Scobey 氏は、世界カカオ財団=WCF を離れ、野生動物取引を監視し、植物や動物の持続可能な管理を促進する世界的な環境団体である『TRAFFIC』の新しいエグゼクティブディレクターになると、WCF はウェブサイト上で発表した。

Scobey 氏は 2016 年から WCF の代表を務め、2019 年の LID 政策でのアフリカ両国との話し合いなどでリーダーシップを発揮した。これを受けて、世界カカオ財団の取締役会は、Scobey に代わる代表者の選考プロセスを開始。

#### 6. 欧州市場の 19-20 シーズンの最終的なカカオ豆在庫は前シーズン 1.5%減(1/29)

ICCO (世界カカオ協会) が行った調査によると、19-20 シーズンの欧州在庫の数量は 774,651 トンとなり、18-19 シーズンと比較して 1.5%の減少となったと発表した。

この調査は ICCO が行った広範囲なものであるが、すべての倉庫が調査に協力してはいなく、また先物市場が管理している認証在庫が上記の内、約 20%含まれているとのこと。ICCO は全世界の在庫調査を行う計画もしている。

#### 7. ファンド勢のロンドンカカオ先物の純買い越しポジションを減らす (1/30)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買いポジションを 181 ロット減らし、18,666 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、1月26日)の取引が含まれている。

- 買いポジションの総量は 1月26日までで、前週より 466 ロット減って、20,330 ロットとなった。
- 売りポジションの総量は 1月26日までで、前週より 285 ロット減少して、1,664 ロットとなった。

#### 8. ファンド勢の NY カカオ先物は、純買い越しポジションが減少、10 週ぶり低水準(1/30)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買いポジションを 5,175 ロット減らし、21,442 ロットとなったことが、ICE 先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで (今週で言えば、1月26日まで)の取引が含まれている。

- 純買いポジションの総量は過去 10 週で一番少ない数字。
- 買いポジションの総量は 1 月 26 日までで、前週より 2,348 ロット減少して、46,562 ロット。過去 10 週で一番低い数字。
- 売りポジションの総量は 1 月 26 日までで、前週より 2,827 ロット減少して、25,120 ロット。過去 10 週で一番低い数字。

## 9. Dari K『フルーツ発酵』カカオ豆を使用したチョコレートシリーズ (1/27)

近年、話題でもあるフルーツ果汁を利用したカカオ豆の発酵。バレンタインデーに合わせて、インドネシアのカカオ豆を取り組む Dari K 株式会社が商品化し、セブンイレブンで期間限定の販売。

～下記は、プレスリリースより引用～

カカオ豆の栽培からチョコレートの製造・販売まで一貫して手掛ける Dari K 株式会社（京都市北区/代表：吉野慶一）は、自社契約農家から調達したカカオを、ライムやパッションフルーツなどの熱帯の果物と一緒に発酵させることで、香料を使わずにフルーティーな香りをまとわせる「フルーツ発酵」を施したカカオ豆で作ったチョコレート菓子商品を 1 月 31 日より、チョコレートドリンク商品を 1 月 26 日より順次セブン-イレブン（\*）にて発売いたします。

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000003.000056176.html>



週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)

\*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。